



ATOMIX

フロアトップ® #8500速乾

コンクリート床面

速乾性

耐摩耗性

フロアトップ #8500 速乾は、エポキシ樹脂を主剤に、ウレタン樹脂を硬化剤に用いた二液溶剤型塗料で、エポキシ樹脂の優れた耐薬品性・耐摩耗性とウレタン樹脂の優れた硬化性を兼ね備え、特に低温硬化性に優れています。

速乾性の
エポキシ系
塗り床

特長

1. 速乾性

低温時(5℃～)の硬化性に優れ、1日2回の塗装が可能です。※塗装条件により異なります。

2. 耐薬品性

緻密な塗膜を形成し、酸性・アルカリ性などの薬品にも耐えられます。

3. ライン(区分線)に最適

ライン(区分線)用として小容量の製品と色調を取り揃えています。

4. 高い耐摩耗性を発揮

エポキシ樹脂の持つ耐摩耗性と、ウレタン樹脂の優れた硬化性を兼ね備えています。

用途

通行の激しい各種工場や通路・倉庫等、耐薬品性・耐溶剤性の必要な実験室等の床

荷姿・塗り面積・標準色

【荷 姿】フロアトップ #8500速乾

15kgセット:主剤9kg/石油缶、硬化剤6kg/半缶

5kgセットライン用:主剤3kg/半缶、硬化剤2kg/2L角缶

【塗り面積】〈15kgセット〉

コーティング工法	38～43㎡
コーティング防滑工法	20～25㎡

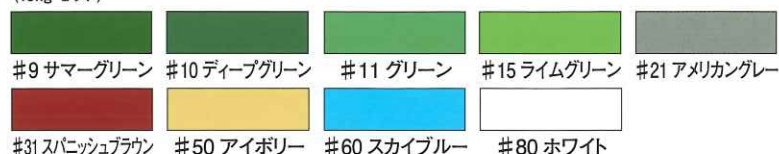
〈5kgセットライン用〉

10cm幅	約166m(16～17㎡)
15cm幅	約110m(16～17㎡)

下地の状況や仕様により塗り面積は増減します。

【標準色】9色(調色は15kgセットのみ承ります)

〈15kgセット〉



※日塗工色見本には無いため色見本を掲載します。

※この色見本は印刷物のため実際の色調とは多少異なります。

標準色の指定・選定・ご注文は必ず別冊の標準カラーサンプルをお願いします。



施工例

塗装色は #15 ライムグリーン



15kg セット



5kg セットライン(区分線)用

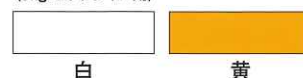
(一社) 日本塗料工業会登録	
登録番号	A03022
ホルムアルデヒド 放散等級	F☆☆☆☆

消防法:

主 剤 第四類第一石油類・
危険等級Ⅱ・火気厳禁

硬化剤 第四類第一石油類・
危険等級Ⅱ・火気厳禁

〈5kg セットライン用〉

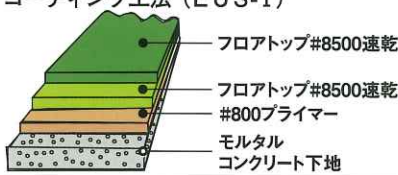


アトムクス株式会社

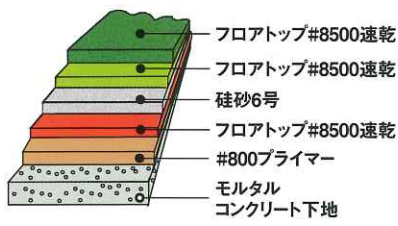
フロアトップ® #8500速乾

施工仕様例

①コーティング工法

工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (時間/10℃)	コーティング工法 (EUS-I) 
下塗り	#800プライマー	—	—	0.20	4~8	
上塗り①	フロアトップ#8500速乾	合成シンナーNo.6	10	0.20	4~48	
上塗り②	フロアトップ#8500速乾	合成シンナーNo.6	10	0.15	—	

②コーティング防滑工法

工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (時間/10℃)	コーティング防滑工法 (EUN-I) 
下塗り	#800プライマー	—	—	0.20	4~8	
中塗り	フロアトップ#8500速乾	合成シンナーNo.6	10	0.20	直後	
骨材散布	珪砂6号	—	—	0.15~0.30	4~48	
上塗り①	フロアトップ#8500速乾	合成シンナーNo.6	10	0.30	4~48	
上塗り②	フロアトップ#8500速乾	合成シンナーNo.6	10	0.20	—	

注) 新設および塗り替えどちらの場合でも、下地処理は必ず必要です。下地処理方法は現場により異なりますので、施工仕様書を参照ください。

可使時間と硬化時間

気温	10℃	20℃	30℃	30℃以上
可使時間	2.5時間	2.5時間	0.5時間	使用不可
上塗り可能時間	4時間	2時間	1時間	
硬化時間	12時間	9時間	3時間	

硬化時間はフォークリフトの通行が可能となる時間です。

注意事項

1. 塗装(施工)前の注意

- (1) 5℃以下の場合には、塗装を避けてください。
- (2) 降雨・降雪・高湿・高温時およびその恐れがある場合には、塗装を避けてください。
- (3) 下地処理は、塗料の付着力を決定する重要な工程です。施工仕様書等をよくお読みの上、十分に注意して行ってください。

2. 塗装(施工)中の注意

- (1) 下地が濡れている場合には、十分に乾燥させてから次の工程に着手してください。
- (2) プライマーの乾燥後、時間を開け過ぎると、上塗り塗料との付着力が低下する場合があります。プライマーとその次の工程までは、同一日に塗装する様をお願いします。
- (3) 塗装中は、換気をよくし、火気の取扱いは厳禁としてください。
- (4) 二液型塗料の計量、混合攪拌は、はかりおよび電動攪拌機を用いて行い、可使時間(ポットライフ)にも充分注意して塗装してください。
- (5) 塗料を小分けする場合は、必ず小分け前に充分に攪拌し、均一にした後にはかりを用いて計量、混合してください。
- (6) 有機溶剤を使用した塗料のため周辺での火気、スパーク、高温物は使用しないでください。
- (7) 静電気対策のため、使用する装置等は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)を使用してください。
- (8) 取扱い時には皮膚・粘膜・眼等に入らぬように、適切な保護具を着用ください。
- (9) #8500速乾は#8500と混合しないでください。
- (10) 気温が30℃を越える場合は、可使時間が極端に短くなるため使用しないでください。このような場合には#8500をご使用ください。
- (11) #800プライマーを完全に乾燥させないで上塗りすると、チヂミをおこす場合があります。
- (12) アルコール系溶剤の混入は避けてください。

3. 塗装(施工)後の注意

- (1) 湿度が高いとき、気温の低いときは乾燥が遅れる場合があります。塗装工程では、常に乾燥状態を確認してから次の工程に入ってください。

- (2) 塗装具の洗浄には合成シンナー No.6をご使用ください。

4. 塗装面別の注意

- (1) 新設コンクリートは最低4週間以上の養生が必要です。下地コンクリートに水分が多い場合は塗装を避けてください。塗装前に下地面にポリシート(1㎡以上)を張り付け、翌日、下地面が黒くなったり、ポリシート内面に水滴の付着がないことを確認した後塗装してください。(ケット水分計HI-520で測定した場合の水分量がDモードで700以下、チャンネル4で5%以下を目安とする)
- (2) 普通コンクリートにおいてレイタンス、エフロレッセンス等をポリリッシャーサンダー等で完全に除去してください。
- (3) コンクリート面をドライバー等で引っかいても傷がつきにくく水が浸透しにくい強化コンクリートの場合やさらに油汚れが付着している面では、下地処理の方法や下塗り材の種類が異なりますので、当社にお問い合わせください。
- (4) 吸い込みの激しいコンクリート面は、アトムプライマー #800TYを下塗りしてください。
- (5) 既存塗膜面の塗り替えは、既存塗膜の除去が必要を確認し、除去しない場合は、当社発行「フロアトップ資料編」の相互付着表をご参照ください。(既存塗膜の種類によって塗装仕様が異なります。)

5. 全般的注意

- (1) 製品ご使用の際には、当販促物の他、製品本体記載の注意事項およびSDS(安全データシート)・施工仕様書をよくお読みください。
- (2) 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
- (3) 改良等のため、①製品の中身、仕様 ②販促物の内容等は将来予告なしに変更する場合があります。
- (4) 当販促物に表示してあります塗り面積、工法はあくまでも設計上の標準的な数値です。塗装の際の諸条件によって増減する場合があります。
- (5) 製品本体および当販促物に記載されている、定められた用途以外には使用しないでください。またご使用方法等につきましてご不明な点がございましたら、必ずご使用前に当社にお問い合わせください。

アトミクス株式会社 塗料事業部

〒174-0041 東京都板橋区舟渡3-9-6 TEL.03-3969-3125(直通) FAX.03-3968-7300



事業所情報



製品情報

<https://www.atomix.co.jp>

検索 フロアトップ8500速乾